

図 38-A

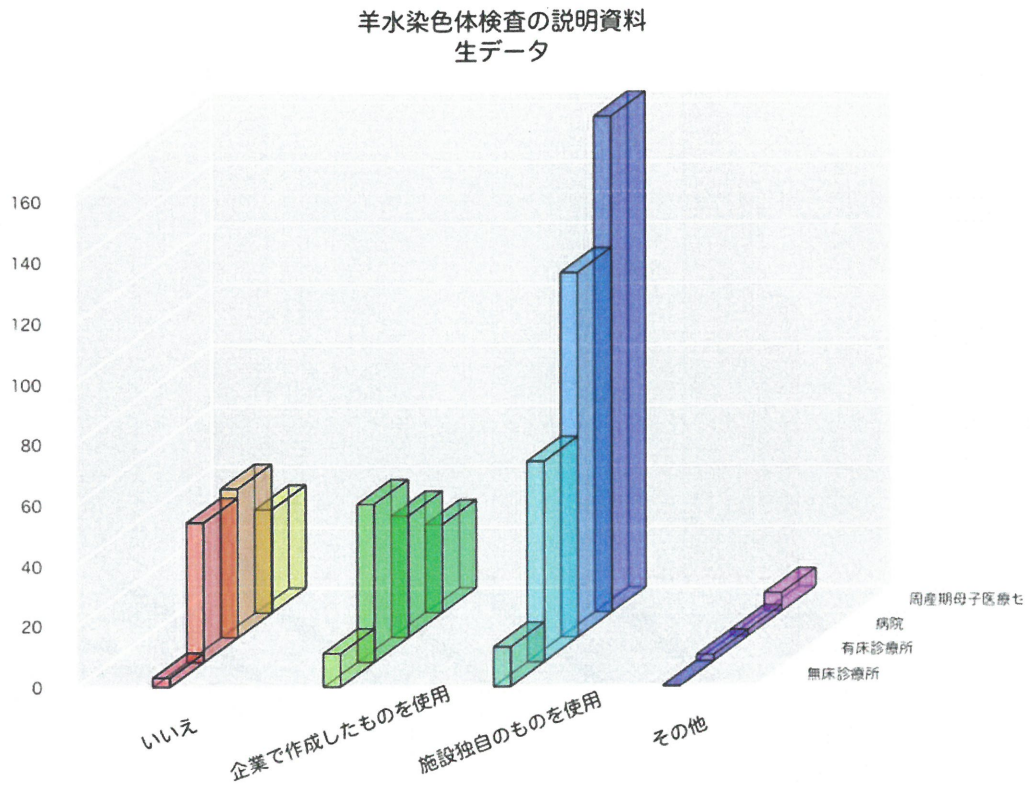


図 38-B

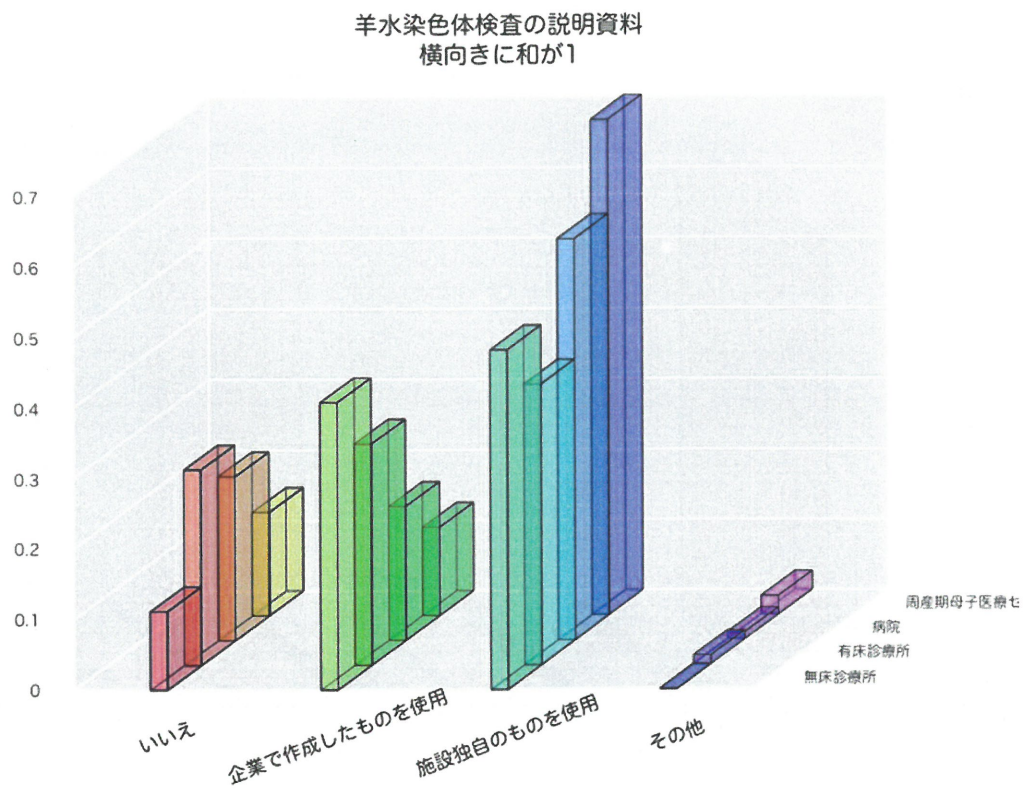


図 39-A

羊水染色体検査前の説明事項  
生データ

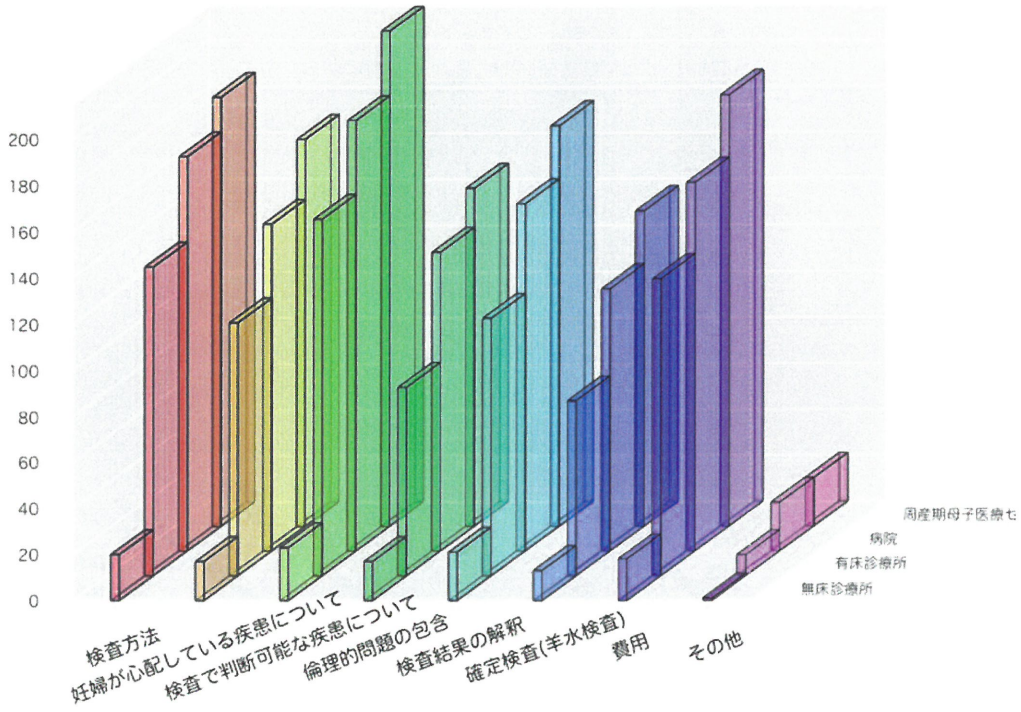


図 39-B

羊水染色体検査前の説明事項  
横向きに和が1

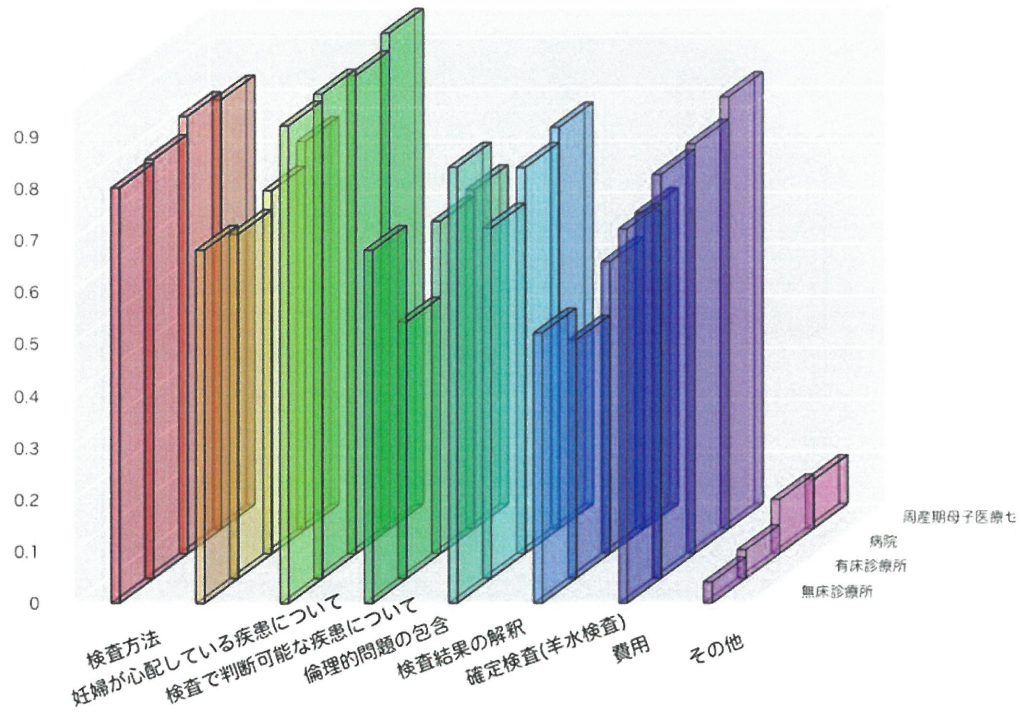


図 40-A

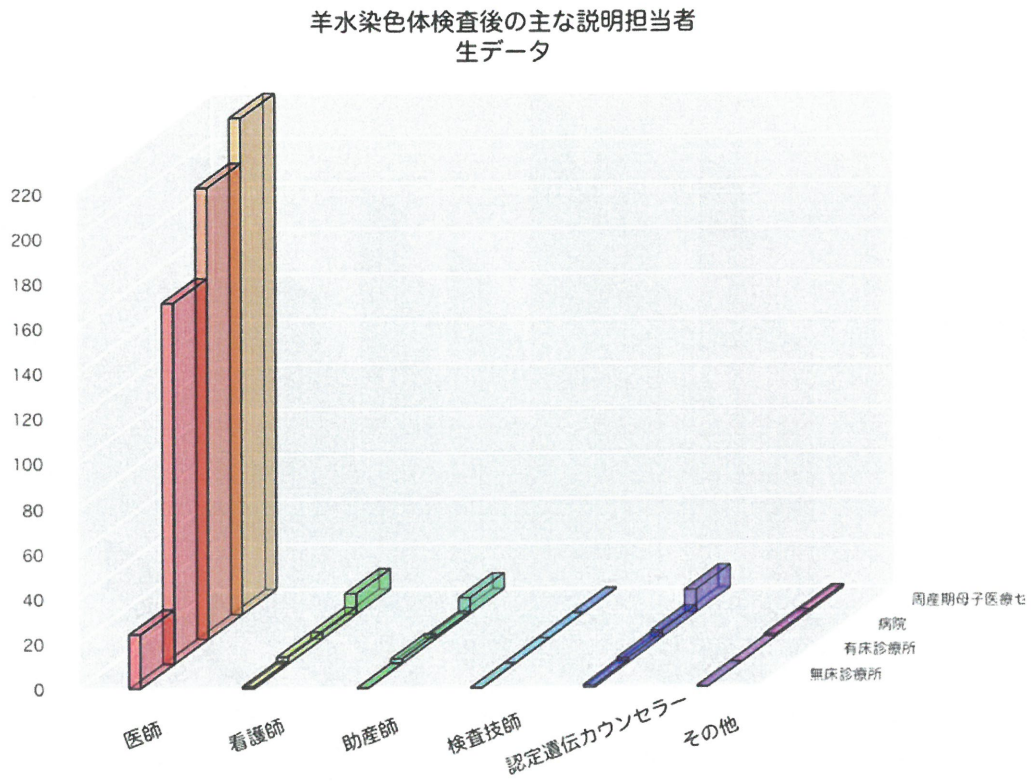


図 40-B

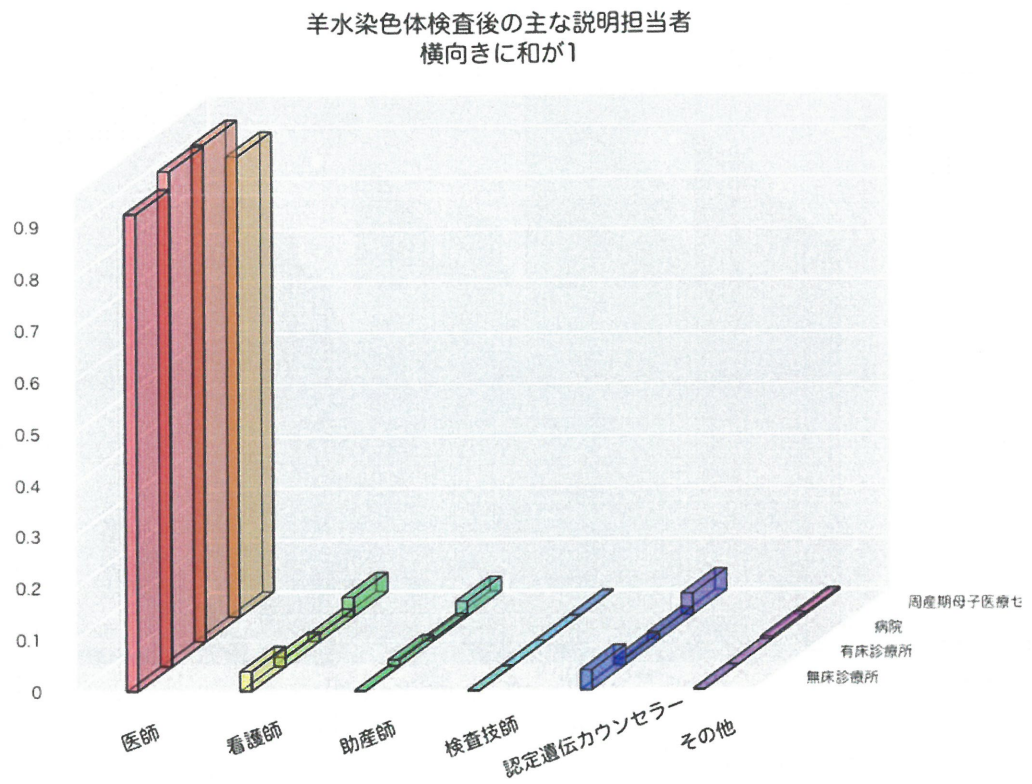


図 41-A

羊水染色体検査の結果が異常核型だった場合の説明時間  
生データ

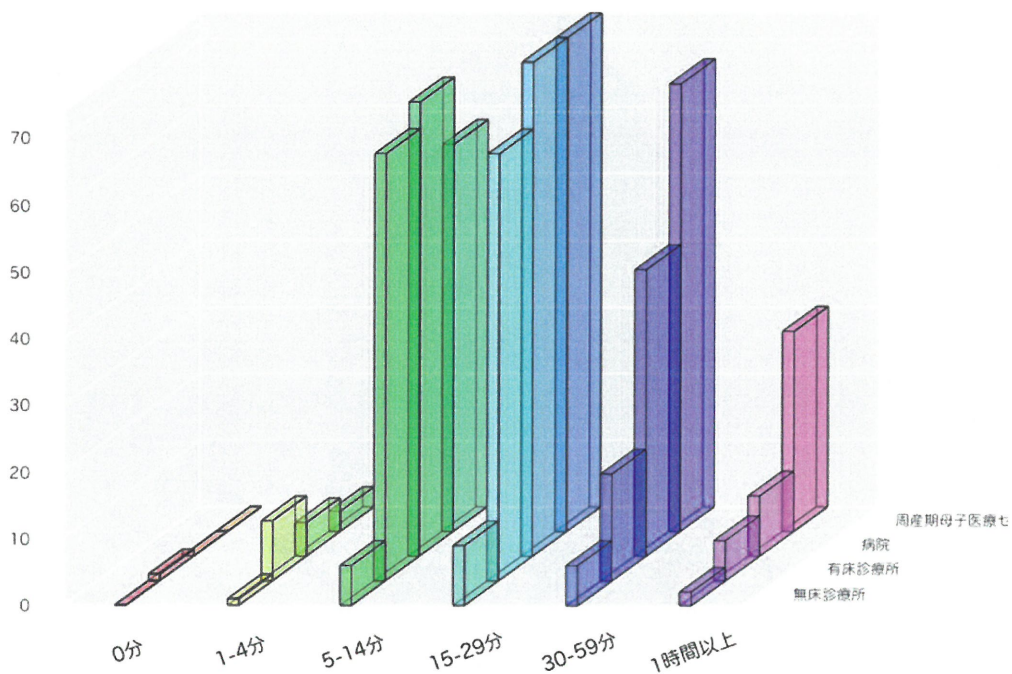


図 41-B

羊水染色体検査の結果が異常核型だった場合の説明時間  
横向きに和が1

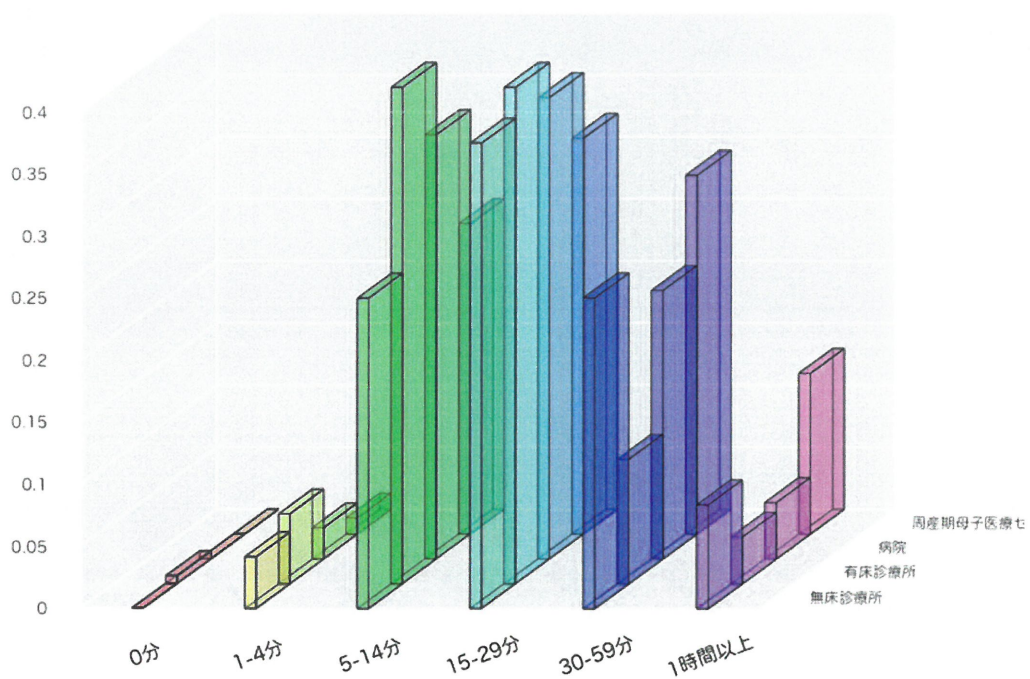


図 42-A

羊水染色体検査の結果が正常核型だった場合の説明時間  
生データ

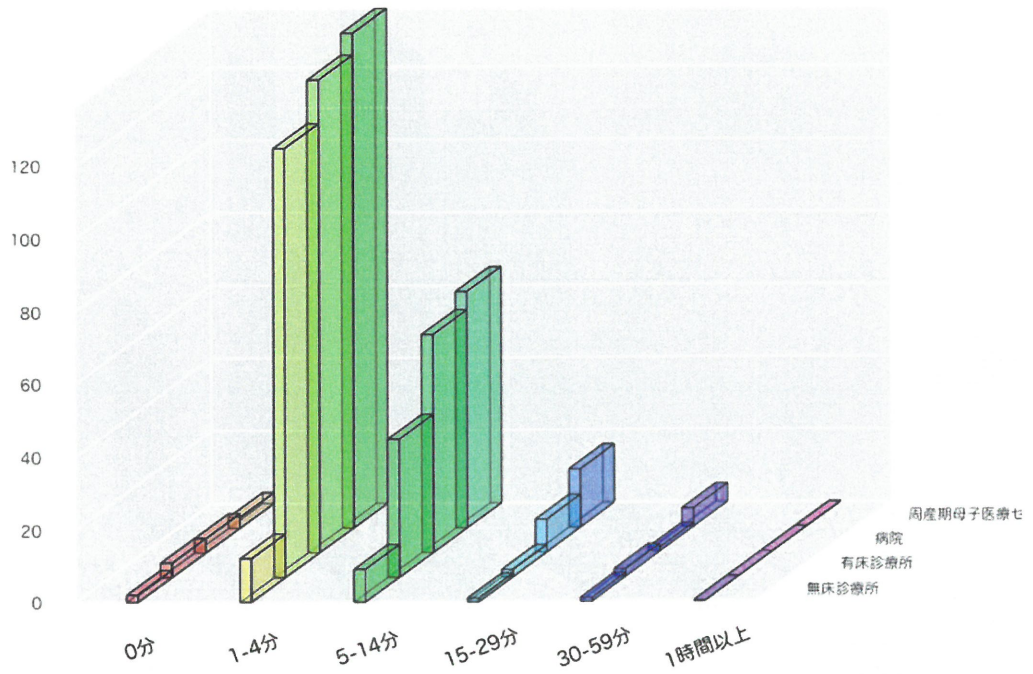


図 42-B

羊水染色体検査の結果が正常核型だった場合の説明時間  
横向きに和が1

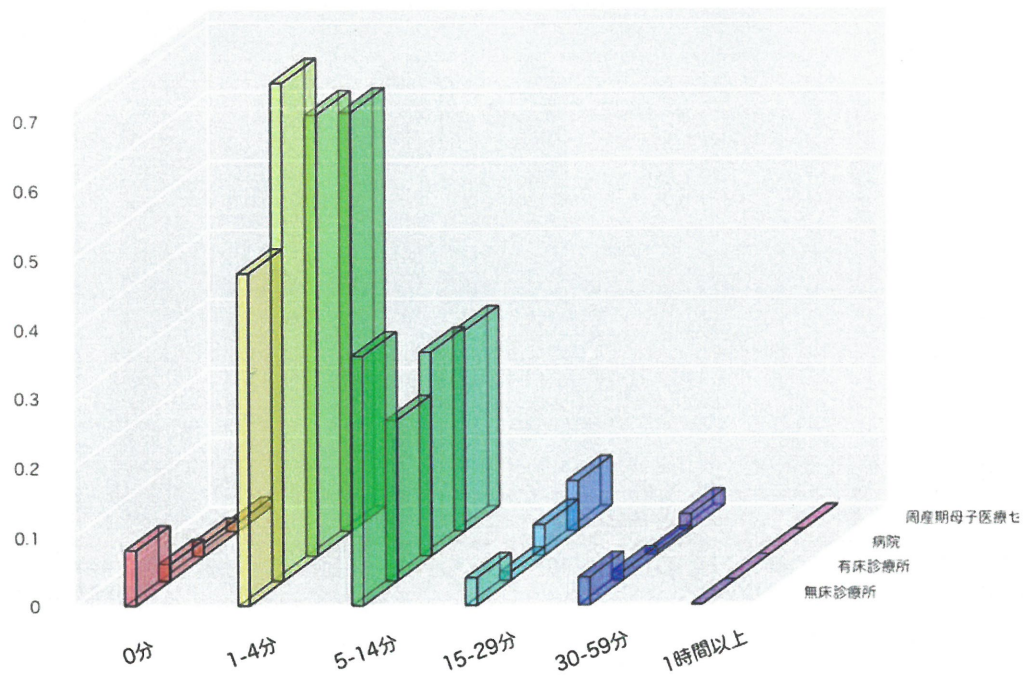


図 43-A

羊水染色体検査結果の説明に苦慮した場合の対応  
生データ

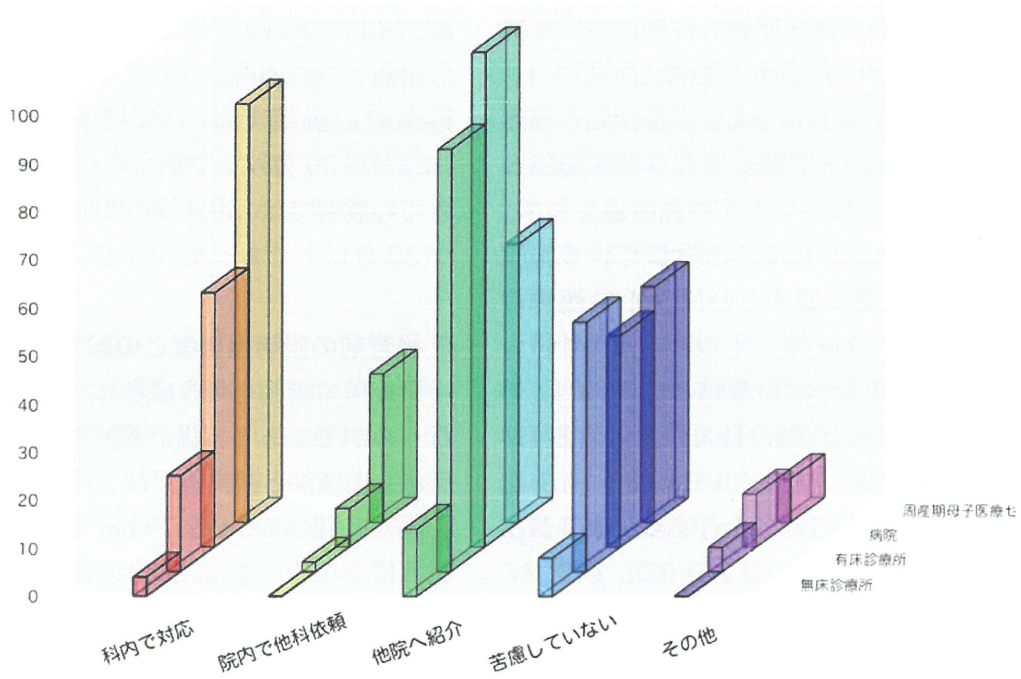
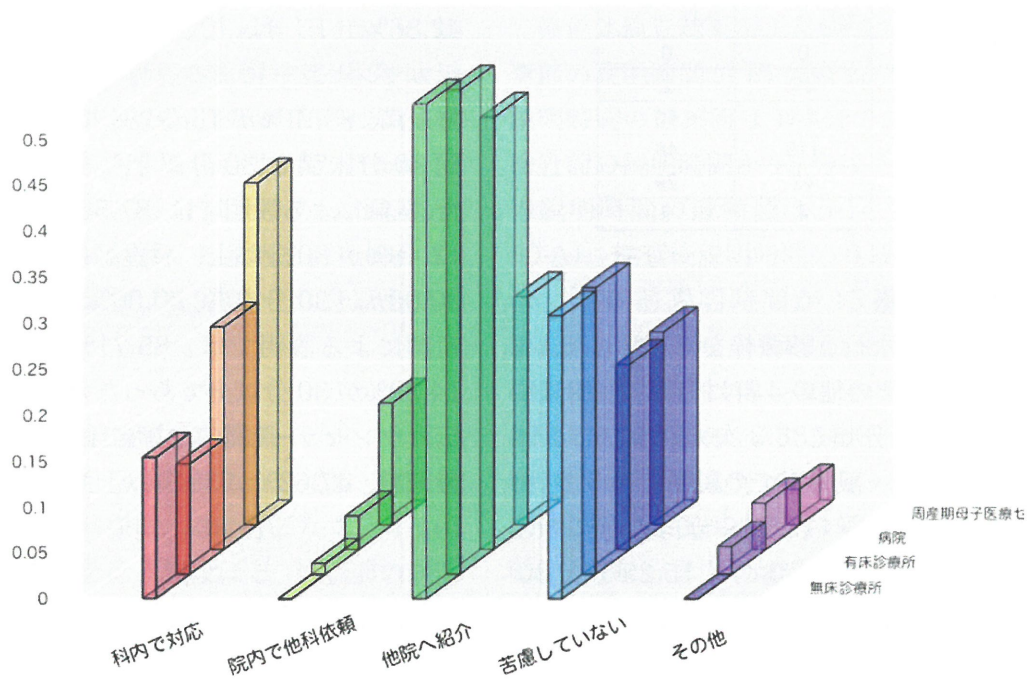


図 43-B

羊水染色体検査結果の説明に苦慮した場合の対応  
横向きに和が1



## b 検査前の説明時間からみた診療の実態

### i 専門資格を有する医療者との関係

羊水染色体検査を実施している施設において、専門資格を有する医療者の有無について検査前の説明に要する時間から分類して示すと、表 10、図 44-A のようになる。ここでいう専門資格とは、臨床遺伝専門医、または認定遺伝カウンセラーのいずれかを有する医療者を指す。専門資格を有する医療者が在籍している施設を、検査前の説明に要する時間から分類すると、0分：0%、1-4分：1.56%、5-14分：35.94%、15-29分：35.94%、30-59分：22.66%、1時間以上：3.91%と5-14分と15-29分が同数で最頻であり30分以上も26%を占めたのに対し、専門資格を有する医療者が在籍していない施設では、0分：0%、1-4分：8.83%、5-14分：57.29%、15-29分：24.44%、30-59分：8.62%、1時間以上：0.82%と短い傾向にあった（図 44-B）。

表 10 説明時間 vs 資格の有無  
(羊水染色体検査)

	専門資格なし	専門資格あり
0分	0	0
1-4分	43	2
5-14分	279	46
15-29分	119	46
30-59分	42	29
1時間以上	4	5

### ii 診療枠との関係

検査前の説明を行う診療枠を、一般外来、専門外来、入院、その他の4群に分け、説明に要する時間により分類して3次元グラフに表示した（図 45-A）。一般外来での説明では5-14分の説明時間が最も多く、15-29分、1-4分の順であるが、専門外来での説明では、15-29分と30-59分の説明時間がほぼ同数で最も多く、専門外来における説明時間が長い傾向がみられた。

説明時間15分未満と15分以上に大きく分けた場合、一般外来での説明では、66.79%が15分未満、33.21%が15分以上であったのに対し、専門外来での説明では、21.35%が15分未満、78.65%が15分以上であった。説明時間30分未満と30分以上に大きく分けた場合、一般外来での説明では、92.18%が30分未満、7.82%が30分以上であったのに対し、専門外来での説明では、58.43%が30分未満、41.57%が30分以上であった（図 45-B）。

### iii 検査前の説明担当者との関係

検査前の説明を行う職種については、医師が行うのが主であり、認定遺伝カウンセラー、看護師、助産師と続く。医師、看護師、助産師とも説明時間は5-14分が最頻であるが、認定遺伝カウンセラーによる説明での最頻の説明時間は、15-29分となっている（図 46-A）。説明時間15分未満と15分以上に大きく分けた場合、医師による説明では、60.57%が15分未満、39.43%が15分以上、看護師による説明では、60.00%が15分未満、40.00%が15分以上、助産師による説明では、57.14%が15分未満、42.86%が15分以上であったのに対し、認定遺伝カウンセラーによる説明では、14.29%が15分未満、85.71%が15分以上であった。説明時間30分未満と30分以上に大きく分けた場合、医師による説明では、87.52%が30分未満、12.48%が30分以上、看護師による説明では、80.00%が30分未満、20.00%が30分以上、助産師による説明では、85.71%が30分未満、14.29%が30分以上であったのに対し、認定遺伝カウンセラーによる説明では、52.38%が30分未満、47.62%が30分以上であった（図 46-B）。

### iv 説明資料との関係

検査前の説明を行う際に用いる資料について

て、説明時間 15 分未満と 15 分以上に大きく分けた場合、資料を用いずに説明する施設は、67.18%が 15 分未満、32.82%が 15 分以上、企業が作成した資料を用いて説明する施設は、67.18%が 15 分未満、32.82%が 15 分以上であったのに対し、施設独自の資料を用いて説明する施設では、54.70%が 15 分未満、45.30%が 15 分以上であり、施設独自の資料を用いて説明する施設で説明時間が長くなる傾向がみられた (図 47-A,B)。

#### v 説明内容との関係

検査前の説明における説明内容は、羊水染色体検査が倫理的問題を含んでいる点についての説明の頻度がやや低い傾向がみられるが、倫理的問題に言及する説明を行う場合には、説明時間が長くなる傾向がみられた (図 48-A)。説明時間 15 分未満と 15 分以上に大きく分けた場合、検査方法を説明する場合は、59.49%が 15 分未満、40.51%が 15 分以上、妊婦が心配している疾患について説明する場合は、52.63%が 15 分未満、47.37%が 15 分以上、検査で診断可能な疾患について説明する場合は、58.03%が 15 分未満、41.97%が 15 分以上、検査結果の解釈について説明する場合は、54.92%が 15 分未満、45.08%が 15 分以上、検査費用について説明する場合は、57.81%が 15 分未満、42.19%が 15 分以上であったのに対し、倫理的問題に言及する説明を行う場合は、49.07%が 15 分未満、50.93%が 15 分以上であった (図 48-B)。

#### vi 検査後の説明担当者との関係

検査後の説明を行う職種については、検査前の説明担当者と同様に、認定遺伝カウンセラーが検査後の説明を行う施設ほど、検査前の説明に要する時間が長い傾向がみられた。

#### vii 検査後の説明時間との関係

検査後の結果の説明に要する時間を、0 分、1-4 分、5-14 分、15-29 分、30-59 分、1 時間以上の 6 段階に分けて、その分布と検査前の説明に要する時間の分布との関係を検討した。

染色体検査結果が異常核型であった場合、検査前の説明時間が 15 分未満の場合は、検査後の説明時間の最頻値は 5-14 分であったのに対し、検査前の説明時間が 15-29 分の場合の検査後の説明時間の最頻値は 15-29 分、検査前の説明時間が 30-59 分の場合の検査後の説明時間の最頻値は 30-59 分であった (図 49-A)。検査後説明時間の 6 段階に分けた比率は、検査前説明時間が 15 分未満の場合：0.28%、4.71%、51.25%、32.96%、9.97%、0.83%、検査前説明時間が 15-29 分の場合：0%、0%、4.76%、54.17%、30.95%、10.12%、検査前説明時間が 30-59 分の場合：0%、1.32%、2.63%、14.47%、56.58%、25.00%、検査前説明時間が 60 分以上の場合：0%、0%、0%、0%、11.11%、88.89%であった。検査前説明時間が長いほど、検査後の説明時間も長くなる傾向がみられた (図 49-B)。

染色体検査結果が正常核型であった場合、検査前の説明時間が 15 分未満の場合の検査後の説明時間の最頻値は 1-4 分であったのに対し、検査前の説明時間が 15 分以上の場合の検査後の説明時間の最頻値は 5-14 分であった (図 50-A)。検査後説明時間の 6 段階に分けた比率は、検査前説明時間が 15 分未満の場合：2.43%、82.48%、14.82%、0.27%、0%、0%、検査前説明時間が 15-29 分の場合：1.82%、42.42%、47.88%、7.88%、0%、0%、検査前説明時間が 30-59 分の場合：0%、25.00%、47.22%、16.67%、11.11%、0%、検査前説明時間が 60 分以上の場合：11.11%、11.11%、44.44%、22.22%、11.11%、0%であった (図 50-B)。検査前説明時間が長いほど、検査後の説



明時間も長くなる傾向がみられた。

#### viii 説明に苦慮した場合の対応との関係

説明に苦慮した場合の対応について、自科内で対応、施設内の他科で対応、他施設に依頼する、苦慮することはない、その他の5項目に分類して解析した(図51-A)。検査前の説明に要する時間から分類したこれら5項目の比率は、説明時間5分未満：10.00%、4.00%、62.00%、

22.00%、2.00%、説明時間5-14分：25.89%、5.36%、40.18%、25.00%、3.57%、説明時間15-29分：25.43%、8.67%、39.31%、23.70%、2.89%、説明時間30分以上：32.56%、6.98%、33.72%、18.60%、8.14%であった(図51-B)。検査前の説明時間に関わらず、他施設に依頼する比率が最も高く、苦慮することはないの比率と自科内で対応の比率が同等であることがわかった。

図 44-A

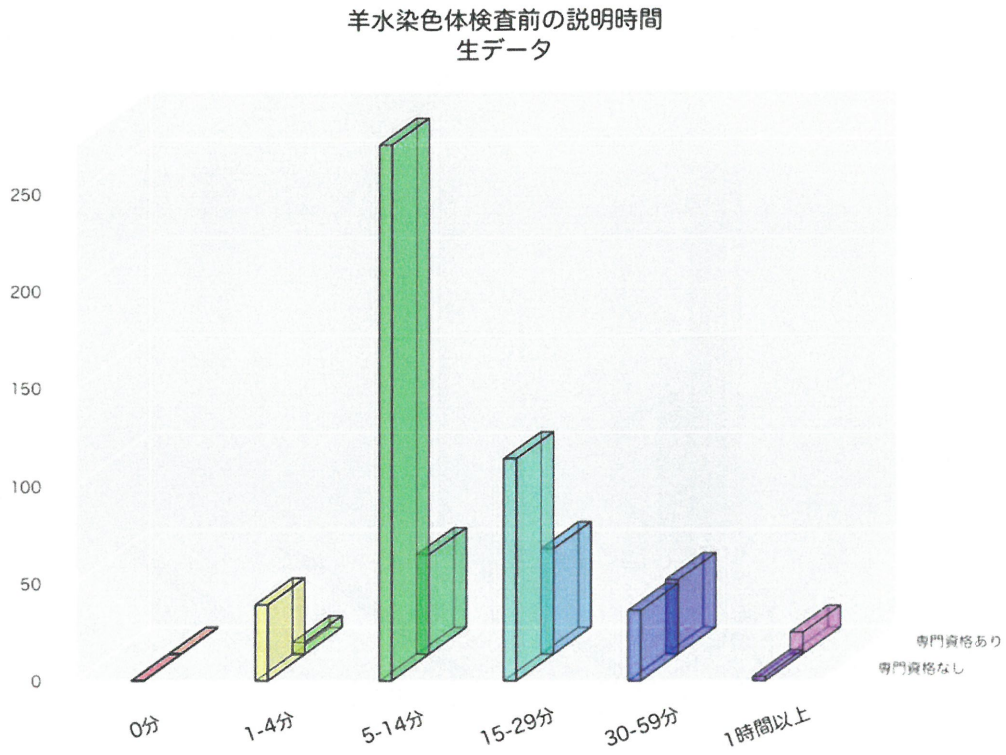


図 44-B

